

2023年度 第14期

事業報告書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は1993年に設立され、2010年7月1日より公益財団法人としての認定を受けている。公益財団法人として第14期目となる本年度は、定款に従い下記の各事業を遂行した。

2023年度は、理事会を、2023年4月19日（書面表決）、5月22日（書面表決）、6月30日、9月8日、2024年1月5日、2月16日、3月15日の計7回、評議員会を、2023年5月12日、2024年3月18日（書面表決）の計2回開催した。また、各選考委員会は、2023年9月1日、9月8日、2024年2月16日、3月15日の計4回開催した。

各理事会・評議員会における議題は次の通りであり、議案については全て出席した理事・評議員全員により承認された。

【理事会】

第93回理事会（2023年4月19日開催）書面表決 理事数11名中11名 監事数2名中2名

1. 2022年度事業報告(案)承認の件
2. 2022年度決算報告(案)承認の件
3. 本財団が保有する株式について、その株式に係る議決権を行使しないことへの承認の件

第94回理事会（2023年5月22日開催）書面表決 理事数12名中12名 監事数2名中2名

1. 2023年度・2024年度代表理事選任の件
2. 2023年度・2024年度執行理事（常務理事）選任の件

第95回理事会（2023年6月30日、東京會館（東京都千代田区丸の内、以下同所）7階にて開催）

出席者 理事数12名中11名 監事数2名中2名

1. 第59回小島三郎記念文化賞推薦票の確認、予備選考
2. 第31回研究助成金の事前審査結果並びに分野別審査委員及び選考委員の確認
3. 技術賞および福見賞の審査内規・推薦票・審査基準比較表の一部改正について

第96回評議員会（2023年9月8日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事数12名中10名 監事数2名中1名

1. 第59回小島三郎記念文化賞受賞者決定
2. 第31回研究助成金の贈呈対象者と助成金額の決定
3. 技術賞および福見賞の審査内規・推薦票・審査基準比較表等の一部改正について
4. 2024年度の贈呈式会場及び日程について

第97回理事会（2024年1月5日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事数12名中9名 監事数2名中2名

1. 2024度における会議及び事業計画の策定
2. 2024年6月の贈呈式における特別講演の演者及び演題
3. 評議員の補充について

第98回理事会（2024年2月16日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事数12名中11名 監事数2名中2名

1. 第43回福見秀雄賞受賞者の決定
2. 第59回小島三郎記念技術賞の予備選考
3. 2024年度事業計画（案）、2024年度予算（案）並びに2023年度収支予算
4. 評議員補充候補者の承認
5. 研究助成金選考委員補充候補者の承認
6. 評議員会開催の件（書面表決）

第99回理事会（2024年3月18日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事数12名中10名 監事数2名中1名

1. 第59回小島三郎記念技術賞受賞者の決定

2. 定時評議員会（5月）開催の件（2023年度事業報告・決算報告の承認）
3. 技術賞・福見賞・文化賞各審査内規一部改正の件

【評議員会】

第35回評議員会（2023年5月12日、東京會館7階にて開催）

出席者 評議員数8名中8名 理事2名 監事2名

1. 2022年度の事業報告（案）承認の件
2. 2022年度の決算報告（案）承認の件
3. 2023年度～2024年度理事選任の件

第36回評議員会（2024年3月19日開催）書面表決 評議員数9名中9名

1. 2024年度事業計画（案）
2. 2024年度予算（案）の承認の件
3. 評議員補充の承認の件

【各選考委員会の開催】

第31回研究助成金選考委員会

（2023年9月1日、東京會館7階にて開催）出席選考委員数8名

1. 第31回研究助成金贈呈候補者の選考及び助成金額（案）の決定

第59回小島三郎記念文化賞選考委員会

（2023年9月8日、東京會館7階にて開催）出席選考委員数11名

1. 第59回小島三郎記念文化賞受賞候補者の選考・決定

第43回福見秀雄賞選考委員会

（2024年2月16日、東京會館7階にて開催）出席選考委員数14名

1. 第43回福見秀雄賞受賞候補者の選考・決定

第59回小島三郎記念技術賞選考委員会

（2024年3月15日、東京會館7階にて開催）出席選考委員数15名

1. 第59回小島三郎記念技術賞受賞候補者の選考・決定

各事業の詳細は次の通りである。

I. 研究助成事業

本財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請内容を各専門分野の審査委員が書面審査にて採点した後、選考委員会で慎重かつ厳正に審議して研究助成の贈呈候補者と助成金額案とを決定し理事会にて報告する。理事会は選考委員会の報告を受け、研究助成金の贈呈対象者と金額を決定するものである。

当該事業は、1993年から開始しており、本年度の第31回研究助成金は、選考委員会を2023年9月1日に開催し、申請件数182件のうちから21件の贈呈候補者と助成金額案を決定した。2023年9月8日に行われた理事会にて、理事は選考委員会からの報告を受け、贈呈対象者と助成金額とを決定した。なお、研究助成金の贈呈式は、小島三郎記念文化賞の贈呈と併せて2023年10月27日に東京會館3階にて開催した。

受贈者の氏名、所属機関、研究課題、助成金額は次の通りである。

【研究助成金の受贈者 第31回】

1. 生戸 健一
(所属機関) 神戸大学医学部附属病院 検査部 臨床検査主任技師 医学博士
(研究課題) 「血中循環エクソソームによる ANCA 関連血管炎の新規バイオマーカーの開発」
(助成金額) 95 万円
2. 岡田 光貴
(所属機関) 京都橘大学健康科学部臨床検査学科 専任講師 人間健康科学博士
(研究課題) 「生体試料の pH 変動を指標とした潰瘍性大腸炎の新たな重症度判定法の構築」
(助成金額) 95 万円
3. 小川 恵子
(所属機関) 北海道立衛生研究所 感染症部細菌グループ主査 (細菌感染症) 獣医学博士
(研究課題) 「北海道内で分離されたヒト由来薬剤耐性志賀毒素産生性大腸菌及び赤痢菌の分子疫学解析」
(助成金額) 100 万円
4. 萩原 真二
(所属機関) 東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部 臨床検査技師 医学博士
(研究課題) 「近年新たに出現した高病原性 MRSA ST22-PT clone の病原性解析」
(助成金額) 95 万円
5. 小野 裕介
(所属機関) 札幌東徳洲会病院医学研究所 ゲノム診断研究部 部門長・主任研究員 農学博士
(研究課題) 「膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) 関連膵癌の超早期診断を目指して: KRAS・GNAS 遺伝子変異特異的な膵組織発現プロファイルの検出を目指したリキッドバイオプシー」
(助成金額) 95 万円
6. 笠松 亜由
(所属機関) 国立感染症研究所感染症免疫センター 14 室 (国際協力室) 研究員
(研究課題) 「結核高蔓延国におけるゲノムバイオマーカーを用いた結核治療に伴う肝障害の発生とそのリスク因子に関する国際共同研究」
(助成金額) 60 万円
7. 菊地 正史
(所属機関) 東北大学大学院 薬学研究科 准教授 薬学博士
(研究課題) 「イオン量調節技術を用いた LC/ESI-MS/MS による薬物のハイスループット定量法の開発」
(助成金額) 60 万円
8. 楠原 一
(所属機関) 三重県保健環境研究所衛生研究室 微生物研究課 主幹研究員獣医学博士
(研究課題) 「特定の新型コロナウイルス感染症集団事例を対象とした長期間の血清疫学調査」
(助成金額) 60 万円

9. くらしげ たかし
倉重 毅志
(所属機関) 呉医療センター臨床研究部 脳神経病態学研究室 室長 医学博士
(研究課題) 「免疫組織化学を利用した筋萎縮性側索硬化症の生検病理診断法の開発」
(助成金額) 95 万円
10. ごとう ひでき
後藤 秀樹
(所属機関) 北海道大学病院 検査・輸血部 (副部長) 講師 医学博士
(研究課題) 「マルチカラーフローサイトメトリー法を用いた正常 T 細胞ならびにキメラ抗原受容体 T 細胞 (CAR-T) の細胞疲弊評価法の開発と臨床応用」
(助成金額) 95 万円
11. こんの さおり
紺野 沙織
(所属機関) 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師 医学博士
(研究課題) 「小児疾患におけるアレルギー性輸血副反応と食物アレルギーの遺伝素因との解析」
(助成金額) 95 万円
12. さだもと そうた
定本 聡太
(所属機関) 国立感染症研究所 真菌部 研究員 医学博士
(研究課題) 「真菌細胞壁多糖の違いがグロコット染色の染色性に与える影響」
(助成金額) 60 万円
13. すぎやま ゆういちろう
杉山 裕一朗
(所属機関) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児科 医長 医学博士
(研究課題) 「母乳による口腔内および糞便細菌叢の構造・機能変化が極低出生体重児に及ぼす MRSA 保菌・合併症への影響」
(助成金額) 100 万円
14. すずき たかと
鈴木 崇斗
(所属機関) 福島県立医科大学附属病院 検査部 医療技師 医学博士
(研究課題) 「Tc-MEP を用いた脊椎・脊髄手術における術後神経機能回復の予後予測法の確立」
(助成金額) 95 万円
15. たかまつ ゆうき
高松 由基
(所属機関) 長崎大学熱帯医学研究所 ウイルス学分野 准教授 医学博士
(研究課題) 「末梢血単核細胞を用いた Dengue 熱重症化機構の解明」
(助成金額) 100 万円
16. なかむら ひであき
中村 秀明
(所属機関) 佐賀大学医学部附属病院 輸血部 助教 医学博士
(研究課題) 「クローナリティー解析を用いたアグレッシブ成人 T 細胞白血病・リンパ腫への進展リスク評価法の確立」
(助成金額) 95 万円
17. のりつき ちひろ
法月 千尋
(所属機関) 修文大学医療科学部 臨床検査学科 助教 医学博士
(研究課題) 「メタロベータラクタマーゼ産生緑膿菌およびアシネトバクター属菌の新規スクリーニング方法の開発」
(助成金額) 95 万円

18. ひろせ かつとし
廣瀬 勝俊
 (所属機関) 大阪大学大学院医歯学研究科顎顔面口腔病理学講座 助教 CiDER
 大阪大学感染症総合教育研究拠点 兼任教員 歯学博士
 (研究課題) 「脈管異常遺伝子パネル検査の社会実装を目指して」
 (助成金額) 95 万円
19. まつだ まさと
松田 将門
 (所属機関) 福島県立医科大学 保健科学部臨床検査学科 助教 医学博士
 (研究課題) 「抗凝固能と向凝固活性のバランスに着目した抗凝固療法の包括的モニタリング法の開発」
 (助成金額) 95 万円
20. もり だいすけ
森 大輔
 (所属機関) 九州大学病院 医療技術部臨床検査部門 副臨床検査技師長 医学博士
 (研究課題) 「マレーシアサバ州におけるダニ媒介感染症の網羅的な調査」
 (助成金額) 95 万円
21. やまもと さちお
山本 佐知雄
 (所属機関) 近畿大学薬学部 創薬科学科 講師 薬学博士
 (研究課題) 「高速全自動マイクロチップ電気泳動システムによる糖タンパク質糖鎖を指標とした新規臨床検査法の開発」
 (助成金額) 60 万円

※所属機関および肩書は理事会決定時

計 21 名 研究助成金総額 1,835 万円

II. 顕彰事業

本財団の定款第4条第1項第2号及び第3号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰並びに臨床検査技師及び衛生検査技師の人材育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰である。これにより学術及び科学技術の振興並びに医療・公衆衛生の向上を図るとともに、国民の健康と福祉の向上に寄与する事業で、「小島三郎記念文化賞」、「小島三郎記念技術賞」、「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年1回贈呈している。

① 【小島三郎記念文化賞】第59回の贈呈

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈呈するものである。

同賞の対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、発表論文等を基に選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1965年から開始しており、本年度の第59回小島三郎記念文化賞選考委員会は2023年9月8日に開催し、推薦候補者8名のうちから1名を受賞候補者として選考し理事会へ報告した。理事は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は、研究助成金の贈呈と併せて2023年10月27日に東京會館3階にて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次の通りである。

さとう けい
佐藤 佳

東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 システムウイルス学分野 教授
医学博士

(業績の題目) 「新型コロナウイルス変異株の特性の解明」

※所属機関および肩書は理事会決定時

② 【小島三郎記念技術賞】第58回の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が事前審査で採点した後、選考委員会が慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1966年から開始しており、本年度の第58回小島三郎記念技術賞選考委員会は2023年3月10日に開催し、推薦候補者18名のうちから4名を受賞候補者として選考し理事会へ報告した。理事は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。なお、同賞の贈呈式は2023年6月9日、東京會館7階にて福見秀雄賞の贈呈と併せて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次の通りである。

1. 菊地 良介

(所属機関) 岐阜大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 医学博士

(業績の題目) 「血管新生破綻機序解明と血管新生療法の評価指標創出及び関連疾患の病態評価への応用」

2. 鈴木 敦夫

(所属機関) 名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門 主任臨床検査技師
医療技術学博士

(業績の題目) 「凝固波形解析に基づくフィブリノゲンの質的分析法の確立と臨床応用」

3. 蜂谷 敦子

(所属機関) 新渡戸文化短期大学 臨床検査学科 教授 医学博士

(業績の題目) 「HIVの新規薬剤耐性変異の分子機能解析に基づく薬剤感受性検査法の開発と普及」

4. 横山 貴

(所属機関) 新潟医療福祉大学 医療技術学部臨床技術学科 准教授 工学博士

(業績の題目) 「ファブリー病におけるマルベリー細胞とマルベリー小体の標準検査法の開発と起源、排出動態や酵素補充療法との関連性の解明」

※所属機関および肩書は理事会決定時

③ 【福見秀雄賞】第42回の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった者に贈呈するものである。

同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し、選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1980年から開始しており、本年度の第42回福見秀雄賞選考委員会は2023年2月10日に開催し、推薦候補者5名のうちから4名を受賞候補者として選考し理事会に

報告した。理事は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は2023年6月9日、東京會館7階にて小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

1. 磯部 順子
(所属機関) 富山県衛生研究所 上席専門員 学術博士
2. 佐藤 智明
(所属機関) 国際医療福祉大学成田病院 検査部 臨床検査技師長
3. 南部 雅美
(所属機関) 熊本保健科学大学 保健科学部医学検査学科 教授 医学博士
4. 藤上 良寛
(所属機関) 一般社団法人 福山市医師会健康支援センター検査課 顧問
元 県立広島病院 臨床研究検査科 技師長

※所属機関および肩書は理事会決定時

④ 【小島三郎記念技術賞】第59回の選考および決定

2024年度における第59回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は2023年11月1日より2023年12月31日まで行い、その後、同賞の選考委員会を2024年3月15日に開催し、推薦候補者16名のうちから4名を候補者として選考し理事会に報告した。同日行われた理事会は、選考委員会からの報告を受け、受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は2024年6月7日、福見秀雄賞の贈呈と併せて東京會館7階にて開催の予定である。

第59回小島三郎記念技術賞受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次の通りである。

1. 岡田 光貴
(所属機関) 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科 専任講師 人間健康科学博士
(業績の題目) 「炎症性腸疾患の病態把握を目的とした新規 ELISA システムの構築」
2. 下村 大樹
(所属機関) 公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 副技師長 医学博士
(業績の題目) 「迅速に凝固異常の有無を鑑別するへパリン中和試験の確立と普及の推進」
3. 鳥居 裕太
(所属機関) 神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部 臨床検査技師
医学博士
(業績の題目) 「至適治療を受けた心不全患者の機能回復における左房ストレインの関連」
4. 松本 慎二
(所属機関) 福岡大学病院 病理部・病理診断科 技師長 保健学博士・医学博士
(業績の題目) 「FISH法および免疫細胞化学による体腔液細胞診の診断技術の確立ならびに精度向上の研究」

※所属機関および肩書は理事会決定時

⑤ 【福見秀雄賞】第43回の選考および決定

2024年度における第43回福見秀雄賞の推薦の受付は、2023年11月1日より2023年12

月 31 日まで行い、その後、同賞の選考委員会を 2024 年 2 月 16 日に開催し、推薦候補者 7 名のうちから 4 名を候補者として選考し理事会に報告した。同日行われた理事会は、選考委員会からの報告を受け、受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は 2024 年 6 月 7 日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて東京會館 7 階にて開催の予定である。

第 43 回福見秀雄賞受賞者の業績、氏名および所属機関は次の通りである。

(業 績) 「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

1. かたやま ひのり 片山 博徳

(所属機関) 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科 教授 臨床検査学博士

2. ただ さとし 多田 達史

(所属機関) 香川県立保健医療大学 保健医療学部臨床検査学科 学科長 教授 医学博士

3. にしお ひさあき 西尾 久明

(所属機関) 社会医療法人誠光会 淡海医療センター 検査診療部 副部長
前 滋賀県立小児保健医療センター 検査科 技師長

4. のりまつ よしあき 則松 良明

(所属機関) 愛媛県立医療技術大学 保健科学部臨床検査学科 生体情報学講座 教授
工学博士

※所属機関および肩書は理事会決定時

Ⅲ. 学術講演会

学術講演会は、2023 年 6 月 9 日東京會館にて、第 58 回小島三郎記念技術賞ならびに第 42 回福見秀雄賞贈呈式の特別講演として開催し、国立国際医療研究センター病院 国立感染症センター長大曲 貴夫先生に「COVID-19 の現状」と題してご講演いただいた。

※所属機関および肩書は講演時

Ⅳ. 公益財団法人登記後の対応

- ① 2022 年度事業報告書等に係る提出書（1. 財産目録、2. 役員等名簿、3. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類、4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第 129 条第 1 項（同法第 199 条において準用する場合を含む）に規定する計算書類等、5. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 1 項第 2 号に掲げる書類、6. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 2 号及び第 3 号に掲げる書類、7. 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書）を内閣府へ 2023 年 6 月 28 日に提出した。
- ② 理事に関して、北川定謙氏の退任と松谷有希雄氏、水口國雄氏の就任に際し変更届を内閣府へ 2023 年 6 月 5 日に提出した。
- ③ 2024 年度事業計画書等に係る提出書（1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 1 から 3 までに掲げる書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類）を内閣府へ 2024 年 3 月 27 日に提出した。

以上